

第 656 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組

「一等地の迷走 ～街の顔が消えたとき～」

(放送日時：2020年3月28日(土)午後5時00分～午後5時30分)

令和2年4月30日

BSN新潟放送

第656回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和2年4月

※4月23日(木)に開催を予定していた番組審議会は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い中止となり、審議は書面により行われました。

3. 委員の出席(書面による出席 敬称略・順不同)

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委員	稲荷 善之	委員	石坂 智恵美
委員	小島 良子	委員	馬場 幸夫
委員	高木 言芳	委員	三井田 由香
委員	渡邊 信子		

4. 議題

- 1 報告事項
 - ・番組種別公表制度に基づく「放送番組種別と種別毎の放送時間」、「青少年に見てもらいたい番組」の報告(送付)
 - ・5月の番組について(送付)
- 2 審議事項
 - テレビ番組「一等地の迷走 ～街の顔が消えたとき～」
(放送日時:2020年3月28日(土)午後5時00分～午後5時30分)

5. 議事の概要

テレビ番組「一等地の迷走 ～街の顔が消えたとき～」(3月28日放送)について委員の皆様からレポートを提出して頂きました。

～番組審議委員の主な意見～

- 古町を今日のような状態にした原因に対する指摘はほぼ見当たらなかったが、古町に関わる人々の活動や想いを伝えるという観点からすると、番組としてはとても手堅く、しっかりしたものであった。
- 何故、西堀ローザには触れなかったのか?
- 「町の顔喪失(三越の撤退)への危機感」や「新たな取り組みに対する応援要請」などのメッセージ性はあまり感じられなかった。

○今後も丹念に古町を追い続け、折に触れて特集を展開してほしい。

○古町について街頭インタビューをしていたが、未来を担っていく若者のインタビューが声として挙げられていなかったことが残念だった。

○タイトルに「迷走」とあるが、番組の結びは「新たな挑戦が続く」だった。
結局のところ番組では迷走を語りたかったのか？挑戦に注視し、それを後押ししたかったのか？

【文責 番組審議会事務局】